

教員・ゼミ紹介

大澤 舞 准教授

英語学、語用論

【ことばの不思議を学問する】

身近にある言語現象のふとした疑問を、言語データから観察・分析し、そこにみられる規則性を見つけて研究します。

北野 収 教授

国際開発論、国際協力論、食料農業問題

【持続可能な開発・発展～環境・貧困・開発・平和～】

持続可能な開発に求められる諸条件を学び、そこから途上国の事例を中心に開発、環境、貧困、人権問題について考えます。

鈴木 涼太郎 教授

観光研究、観光文化論

【ツーリズム研究—文化・地域・生活・産業—】

ツーリズム産業や観光地にかかわる身近な事象に対し、人文社会科学の視点でアプローチします。

須永 和博 教授

文化人類学、観光研究

【人類学で世界をみる】

文化人類学の手法—フィールドワークに基づき、グローバル化する現代世界の多様な現象を読み解く想像力を磨きます。

高橋 雄一郎 教授

パフォーマンス研究

【誰一人排除されない世界】

(where no one is excluded)をめざして
パレスチナが抱える問題について、映像やドキュメンタリー作品などを通じて解決策を探ります。

玉井 昇 教授

オセアニア地域研究、政治発展論

【グローバル理解教育、キャリア教育、オセアニア】

グローバルな課題について参加体験型の手法を通して考えます。

永野 隆行 教授

現代国際政治史、国際関係論

【英語圏の国際関係～歴史と現代】

イギリス、アメリカ、オーストラリアなどの英語圏諸国の国際関係の歴史を紐解き、考察します。

花本 広志 教授

民法、法学教育・法曹養成教育

【交渉学】

他者とのより良い関係を構築していくために必要となる交渉の理論と技法を実践的に学びます。

山口 誠 教授

メディア研究、観光社会学

【メディアとツーリズムの社会学】

—「観る」ことを探求する—

「観る」ことを学術的に考察する技法を習得し、メディアとツーリズムの研究を進めていきます。

L.G. ボンド 教授

日本思想史、サービス・ラーニング

【比較文化論、日本文化論】

サービス・ラーニングの手法を用いて、日本の文化と他の社会の文化とを、さまざまな視点から比較していきます。

教員名

教員の専門や研究テーマ

【ゼミテーマ】

ゼミ紹介

N.H. ジョスト 教授

Language in Focus

【Language, Culture, Thought & History】

Language and culture go hand in hand. By studying language, we can learn more about culture, history and thought.

土川 孝 特任教授

国際航空輸送論

野上 文子 特任講師

英語教育論



卒業論文テーマ一覧（一部抜粋）

- ツーリズムコンテンツとしてのアイドル：坂道アイドルファンを事例に
- 「韓流の聖地」としての新大久保
- セクシュアル・マイノリティと居場所：新宿2丁目を事例として
- 外国にルーツをもつ人々に対する言語教育のあり方：川口市の取り組みを中心に
- 米国のオーガニック農産物・食品の「陽と陰」：ミシガン州ノバイでの調査から
- 「平和」について思考する：教科書に載らない日本人
- 語学産業にみる日本フィリピン関係：セブ島短期留学フィールドノート
- カンボジアの過去・現在・未来を考える：ボランティアとインターンシップ体験から

Q & A

Q. 外国語学部のほかの学科との違いは何ですか？

A. 交流文化学科は「人と文化の交流＝ツーリズム」をキーワードに世界のさまざまな地域の文化や社会について学ぶことをめざしています。世界の共通語として、実践的な英語力を身につけますが、学びの対象は英語圏に限りません。「ツーリズム」が世界のありとあらゆることを対象としているように、学びの対象も世界規模であることが特徴です。

Q. 「交流文化」とは何ですか？

A. 歴史を紐解くと、文化は最初から確立された存在があったのではなく、言葉や生活習慣、思想や哲学など出会い、それを受け入れたり、ときには衝突を繰り返しながら形作られてきました。このような出会いと変容のプロセスを交流する文化、すなわち交流文化として捉えています。

TOPICS

オンライン講演会を多数実施

交流文化学科ではコロナ禍にあっても、外部講師による講演会（オンライン）の機会を多数設けています。2021年度は「見沼田んぼ福祉農園」の取り組みからローカルな場所に根ざした自治のあり方を考える講演会、アイヌ語やアイヌ工芸の伝承活動に携わる方をお招きして、二風谷におけるアイヌ文化伝承活動の現在を学ぶ講演会など、学生の皆さんの知的好奇心を高める工夫を行っています。

交流文化学科フォーラム

毎年、社会で活躍されている卒業生に講演をしていただき、将来のキャリアを考える機会を設けています。これまでも航空業界、旅行業界、ジャーナリズム、公務員、国際協力NGOさらには研究（大学院進学）などで活躍する卒業生から本学での学びや経験がいかに現在のキャリアに役立っているかをお話しいただきました。

ツーリズムキャリア論を開講

企業のファイナンスやマネジメントの基礎知識、業界研究や企業研究、企業担当者を招いた講演会、マナー実習などを組み合わせながら、就職活動はもちろん、その後のキャリアに必要なスキルを身につけます。ツーリズム産業のみならず、グローバルなキャリアをめざす学生のための授業です。